

8-4-27 品質向上専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動の目的

品質の確保・向上について、改善しなければならぬ課題は多く、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。一方、専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

(2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

(3) マネジメントセミナーへの参加

- ・開催時期：平成28年7月
- ・開催地：当協会9支部の9会場
- ・主催：マネジメントシステム委員会
- ・セミナー参加者：全会場で1,227名（その内72名は発注者）

当委員会のプログラムは、第5講「品質の確保・向上に向けて」「失敗を好評価に変える」とし、60分の講演を行った。

(4) 調査検討事項

品質向上専門委員会活動として、協会会員各社が実施している「業務成果の品質向上に向けた業務マネジメント」を把握・分析し、良い取り組み事例を協会会員会社に紹介することを目的に、平成26年度の詳細設計業務について、ヒアリング調査(32社)を実施した。対象業務は、国土交通省に加えて、自治体、高速道路会社等としたことで、大手企業に偏らない、様々な規模の企業の取り組みについて幅広く調査できたものとする。

ヒアリング調査は、うまくいかなかった事例と好評価を得た事例の内容を詳細に聞き出し、これをもとにそれぞれの要因について整理、分析した。セミナーでは、「失敗を好評価に変える」とのサブタイトルのもと、うまくいかなかった要因分析の結果と、好評価に変えるポイントを整理し、実際に好評価を得た事例を紹介した。

また、前年度にセミナーで発表した「ためしで納得10のポイント」について、協会会員会社に、その実施状況のアンケートを行った結果を整理・分析した。セミナーでは、これらの10のポイントについて、効果ありと感じている割合が高いことを紹介した。

(5) 勉強会の開催

- ・テーマ：「設計ミス」「トレンド」に学ぶ
- ・開催日：平成29年2月17日
- ・場所：建設コンサルタンツ協会会議室
- ・講師：日経コンストラクション 野中編集長
- ・参加者：28名

サブタイトル：「エラーしない、出さないためには」と題して、最近の会計検査での指摘をもとに、エラーの具体事例を紹介していただくとともに、エラー要因の分類ごとに、エラーを出さないためのポイントについて、以下の項目で講演していただいた。

1. 会計検査の指摘の傾向
2. 最近指摘が増えたミスの事例
3. ミス要因別の具体例
4. 高速道路会社のミス事例から
5. ミスをしない、出さないために

会計検査院、建設コンサルタント企業、国土交通省、高速道路会社などへの取材と最近のデータを用いてわかりやすく解説していただき、たいへん有意義な勉強会であった。

2. 次年度の活動について

平成29年度は、平成27年度に実施した詳細設計業務に対して、会員企業が実際に取り組んでいる品質向上施策のインタビュー調査の結果をもとに、好評価を得るコツがどこにあるのかを分析、とりまとめを行い、平成29年度マネジメントセミナー（7月開催予定）での発表を予定している。資料は当協会HPで紹介し、協会の「品質ブランド」の確立を目指す。次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、また、品質向上に関する勉強会も実施する。

（品質向上専門委員会委員長 上田 隆）